

正岡地区タウンミーティング

平成23年7月22日（金曜）

【市長】 皆様こんばんは、野志克仁でございます。平日の夜間、そして皆様お仕事でお疲れのところ、こんなに多数の方を集まっていたいただいて本当にありがとうございます。また、6月11日だったかと記憶しているんですけども、正岡地区のまちづくり協議会の発足式がありました。そのときも来させていただきましたけれども、以来ですから田植えの時期もあってお忙しかったかと思うんですけども、正岡地区まちづくり協議会の西原会長はじめ、役員の皆様方、このタウンミーティングの開催にあたりまして、ご協力をいただき本当にありがとうございます。

さて、先ほど司会のほうからありましたとおり、今日で8地区目ということになります。タウンミーティングは1月にスタートいたしまして、松山市には41の公民館の本館があります。この41地区を4年間、市長の任期は4年でありますので、1ヶ月に1回のペースで回っていかうと思っていたんですけども、おかげさまで好評でございます、できるだけ早く皆さんのところに回って行って皆さんの声を聞いていきたいと、今月は2回目の開催になっております。

さて、毎回やっているんですけど、タウンミーティング、ご覧のように見ていただきますと、まずテーマ1が「正岡地区の魅力について」、そしてテーマ2、3で課題、問題点このあたりを皆さんと前向きな話をしていければと思っているんですけども、なぜ、まず魅力について語っていただくか、これについてお話をさせていただこうと思います。まずですね、まちづくりはそのまちの魅力をちゃんととらえないとまちづくり間違っちゃうんです、なぜか。国中心で戦後はまちづくりをやってきました。それは戦後、本当国土が焼け野原になってしまった。国中心で社会資本の整備をしていく。建物の整備をする、道の整備をするっていうのは国中心でやっていくことはよかったですね。でもそれから戦後66年も経った。それぞれの地域地域で事情は違います。その地域の魅力を知っているのは、そこに住む人たちが一番魅力は知っています。国中心で行政中心でまちづくりをやっちゃうと、どこも同じような金太郎飴のようなまちがいっぱいできちゃうんですね。それぞれの地区に歴史があつて特徴がありますから、まちづくりはしっかりと地元の魅力をとらえることが大事なんです。ですので、まず魅力について語っていただきます。そして、もちろん課題点、問題点につ

いてもお話をさせていただきますけども、松山市の仕事といたしますと、本当に幅広いです。松山市立小学校中学校という言い方をしますし、クリーンセンターもあります、保健所もあります、競輪場もあります、いろんな分野にまたがります。このタウンミーティングというのはですね、本当にいろんな分野のお話が出てくると思いますので、今日は各担当を、毎回5人から6人来ているんですけども、担当を連れてきておりますので各担当からですね、私はこういう仕事をしております〇〇ですというごあいさつをさせていただきます。

【市民部長】 このタウンミーティングを統括しております市民部長の三好龍彦と申します。よろしく願いいたします。ほかに皆さんよくご利用される支所とか、サービスセンター、本庁になりますと市民課とかもございませう。あと、市民相談課とか人権啓発課、市民参画まちづくり課、ちょうどこのまちづくりをやる課なんですけども、そうした幅広い分野を担当しております。よろしく願いいたします。

【保健福祉政策課長】 保健福祉関係、医療関係を担当しております、保健福祉政策課の大濱でございます。よろしく願いいたします。

【都市政策課長】 道路、また公園など都市基盤整備を担当しております白石でございます。どうぞよろしく願いいたします。

【産業政策課長】 産業経済部の中西と申します。産業経済部では、経済振興、雇用対策、観光振興、それと農業に関する農業振興、それと農林土木に関する一般土地改良関係、こういうものを所管しております。どうぞよろしく願いいたします。

【教育委員会生涯学習振興課長】 教育委員会担当の青木と申します。学校教育とかですね、公民館とか、あるいは保健体育、そういった分野を担当しております、どうかよろしく願いいたします。

【消防局総務課長】 消防局総務課の岡本です。消防局の予防、警防、そして自主防災組織、女性防火クラブ等を担当しております。よろしく願いいたします。

【市長】 よろしく願いいたします。最後にお話をいたしました岡本課長は、もともとはレスキューだったですかね。消防のレスキューの現場で働いていた職員であります。それぞれ各専門でありますので、また専門が答えしようかと思ひます。もちろん私もお答えいたしますけれど、先ほど地区の魅力のことで言ひましたら、人間ってね、同じまちに住んでいたら、ついついうちのまちはたいしたことないわいとかね、自分のまちを過小評価してしまうんですよね。どうぞ過小評価なさらずにですね、自分のまちの魅力についてしっかりととらえていただけたらと思ひます。このタウンミーティングというのは、ある意味めんどいことをしようと思ひ職員の方には言ひてお

ります。なぜかと言うと、市役所にちーんと座っておけば楽ちなんですよ。でもそうじゃなくて皆さんのところに出ていきましょう、そして皆さんのお声を聞かせていただきましょう、出ていくそして聞かせていただく。楽な方法はその時だけ聞いたふりをしておく、やりっぱなしにしておくというのは楽なんです。それはやりません。必ず皆様のご意見を聞かせていただいて、そして返答をいたします。それは国と絡むもの、県と絡むもの、財政的なもの、いろいろ絡みがありますので、それをきちんと調べて皆さんのところにお答えをいたしますので、一ヶ月くらいお時間がかかってしまうかもしれないんですけど、必ず皆さんのところに返答をさせていただきます、それからまた皆さんの意見、我々の現状、そしてこういうふうにしていきたいと一段一段議論をしていきたいと思っておりますので、またご協力の程よろしく願いいたします。今日も皆さんと前向きなお話し合いをしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【司会】 それでは最初のテーマ「正岡地区の魅力」についてDVDでご紹介いただけるということですので、さっそくご覧いただきたいと思っております。

——DVD上映——

【男性】 先月の6月11日には、野志市長さんをお迎えいたしまして、正岡まちづくり協議会を発足いたしました。市長さんには大変お忙しくご多忙のところ出席をいただきましてありがとうございます。また今夜は引き続きまして第八回目のタウンミーティングをここ正岡で開催していただき誠にありがとうございます。さて、私たちの住む正岡地区は北条の中央部に位置し、東を向けば標高986メートルの高縄山があり、そこから出る朝日はとてもきれいです。またすぐそばには北条では一番大きな川といわれております立岩川が流れております。そして正岡地区の中ほどには小学校や公民館、そして由緒ある国津比古命神社がございます。古くからの自然豊かな風光明媚な田園地域であります。また正岡といえば、先ほどのビデオにもありましたように毎年秋の例大祭には、風早の火事祭と呼ばれるだんじりの勇壮な統一練りが行われます。また、宮入のときには全国のお祭でも珍しいと言われる、境内の石段よりのみこし落としが行われます。今年のだんじりの統一練りには市長さんもぜひお越し下さい。そしてだんじりに乗っていただいたらと思います。また、正岡にはほかにホテルの郷としても有名でして、今では初夏の一大イベントとして定着をしております。そして何よりも誇れる正岡の財産は、素晴らしい歴史、文化、伝統、暖かい人と人との絆が区長制度と共に先人より今も引き継がれてきていることとございます。私たちはその先人たちが築いてきた偉業を絶やすことなく後世に、この正岡のすばらしさを誇りを持

って伝えていきたいと存じます。なお、正岡まちづくり協議会も、地域の皆さん方が本当に正岡に住んでよかったと思える地域を目指して、できることから活動していきたいと存じますが、さらに今晚のタウンミーティングの開催をきっかけにして、まちづくりにもはずみがつけば期待をしております。今後とも行政と協議会が共に発展していけるよういい関係を築いていきたいと思っておりますのでよろしくお願いをいたします、最後になりましたけど、本当に正岡はいいところです。

【市長】 ありがとうございます。私も正岡に来るにあたって、勉強させてもらいましたけども、松山41地区あると申し上げましたけども、お世辞ではなくて正岡は恵まれたところ豊かなところだと思います。歴史的に前方後円墳もあるということは昔から豊かな土地なんでしょうね。考えてみたらですよ、全国でも珍しいみこしを落とす祭なんかあって、中には一つのおみこしを大事に大事に守っていくというところが多いかと思えます。さっき三世代交流のことが出ていましたけども、今中心となっているのは個人とか孤独、「個」が目立つ世の中なんですね。三世代交流でコミュニティがある繋がりがある、あるまちなんかいうたら例えば新しくおみこし作ろういうたら、なかなかお金が集まりにくかったり、そういう中で毎年毎年作り換えられるなんていうのはやっぱり豊かなところなんだと思えます、恵まれたところなんだと思えます。ですから本当に正岡というところはいろんな魅力が詰まったところだというのは言えることだと思いますので、皆さん大事に大事にさせていただきたいと思えます。あと私が魅力だなと思っていたのは、一茶の道は正岡に入りますよね。小林一茶さん、長野の方なんですよ、長野の方がこちらにおいでとっていっぺん松山行って、帰るときも北条正岡来るってよっぽど一茶さんも気に入られたと思うんですよ。一茶さんが大変気に入った場所なんでこれもですね、大いにアピールしていただけたらと思っています。

それでは課題のほうもいきましょうかね。魅力他ありますか。だいぶDVDにまとめてもらってましたからね。

【男性】 市長さんも知つとると思えますけど、風早のホタルたぶん平成3年に市長は、市長じゃないときに来られております。門前堀というところで僕らは始めました。今現在23年間人工養殖をやっております。ただし、僕らの八反地地域には川がないので、隣の高田・神田・院内地区の川をお借りしてやっております。今年は台風のせいで、去年よりあんまり飛ばなんだんです。しかしお客さんは一番多いときで670名来られております。そういうところで、駐車場に大変苦勞しております。そういう場所もございません。公民館の行事として西警察の許可を頂きまして、約600メートル通行止め、歩行者道路にさせていただいて、院内地区、高田地区の方は一方通行、迂回路を通して生活道路を変えていただいておりますけど一般の方も立岩川の周辺に車をとめてられた

り、中の生活道路にとめさせていただいてますけど、670名来られた場合、高田神社にもとめさせていただいております。高田地区の方のご好意をいただきまして。そういうところで今日松山市の産業経済の方とか道路整備の方とか色々来られていますけど、もし、そういう面でお考えがございましたら、駐車場の件で市長含めまして考えていただいたらと思うんです。一つお願いをいたします。

【市長】 早速ホテルの話が出ましたけれど、もちろん覚えております。門前堀に行かせていただいたこと覚えております。逆にこういう風にしてもろたら楽になるんやけどなあいうのありますか。

【男性】 一つは高田地区の区長さんを含めまして駐車場ができる場所が提供していただければ市役所の方に駐車場という形をとっていただいてもかまんですけど、高田地区も一つ公園が新しくできましたし、それと一緒にして駐車場か何か踏まえてつくっていただければと思うんです。というのが今年も立岩川少し広めのところにだまっとしたら勝手にとめて来られるんですね。僕らのメンバーが居るときには並んでとめさせていただいて、たくさん来られた場合、何か一つ考えていただいたらと思うんです。

【市長】 今お話聞かせていただいて思うんですけど、20年以上ホテルのことされてこられるのは大変なご苦勞があったかと思うんですね。物事なんでも一步踏み出そうと思ったら、文句言う人もおったり、めんどくさい言う人もおって、いろんな考えの人もおりますから、20年超えてやってこられたことはほんとに素晴らしいことと思います。敬意を表します。今回せつかく正岡地区のまちづくり協議会ができましたので、この中で、皆さんでどういうふうにしたいというのをまちづくり協議会の中で話していただきまして、皆さんでできること、行政でできること、そして皆さんと行政が力を合わせてできること、3つに分かれるかと思うんですけど、まちづくり協議会の中で話していただいて、これは地元ではなかなかできんのかなという部分がありましたら、せつかく20年を超えてやられている活動ですし、たくさんのお客さんが毎年楽しみに待っていると思いますので、ご協力させていただきたいと思います。行政として応援できる部分がありましたら応援させていただきたいと思っておりますので、また色々これからもお話させてください。よろしく申し上げます。

【男性】 範囲を広げれば高齢者の福祉というのは大変広がりますので、現実に発生しました問題を中心にご指導を賜ったらと思います。といいますのは今年度は高齢者の安否を確認する運動が全国的に展開されています。そういう一環といたしまして、当正岡地区においてもそれぞれの団体が特に独居で生活されている方を中心に安否確認も含んで訪問をするということを実践しているところです。ご案内のように正岡地区は約2300人程度の人口であります。そのうちの65歳の高齢者がだいたい34%くらい。

そしておひとりで生活する独居の方、大体80名強おります。そういう人たちを中心にやっておりますが、今年の1月から6月末までの中で、色々な形でお世話になった方が私の知る限りでは4件発生しております。そのうちの2件については救急車と運びまして一命とりとめてお一人は元気に生活しておりますし、まだ一人の方は入院中ではありますが、不幸にして2名の方がなくなっております。これも共通で夜間に電気が付かないとか新聞受けに新聞がたまっているとか、郵便物が溜まっているとか、あるいは近所の方が近頃あの人を見かけないとかいう周囲の状況の中で安否確認を実践したところでもあります。そういうおうちに限って近親者の方が大変遠いところに生活しているとか、近くにおっても疎遠になっているとかで行き来の少ない家庭で発生しております。この中で1、2点私たちが当面して困った点でご指導賜りたい点がございませぬ。一つは安否確認のためにおうちの中に入らなければいけない場合に、私たち地域の方が勝手に入っていきまはせんので警察署に連絡をして立ち会っていただかなければいけないとか、また、中に入る場合、鍵がかかっておたりすると壊して入らなければいけない問題が出てまいります。入るために、建物を壊した場合に私たち後どういふふうで復元してあげたらいいのかという問題も発生しますし、また、警察とか救急車に来ていただいて、亡くなられた方の事例を見ますと、事件性がなければ死亡確認すれば救急車、警察はそのまま帰ってしまいます。そうすると残されるのは端的に言えば遺体一つになってしまいます。その場合に周囲の方々がどこまでお世話できるのか、こういう問題が実際として発生したのがあります。何か地域の方々にご指導賜って、スムーズにいける方法をお教えいただければ大変幸せであるところでございます。大変小さい問題あるいは限定された問題で申し訳ありませんけれどもよろしく願ひいたします。

【市長】 分かりました、そういう事例を教えてくださいありがとうございます。今回8つ目のタウンミーティングで、どうしても高齢者のことが出てまいりますので、私も勉強させていただいたことがあるんですけども、松山市が安否確認としてどういふことをやっているのかとちょっと申し上げます。大きく四つあるんですけど、安否確認事業としてどういふことをやっているかという、概ね65歳以上のひとり暮らしの方や高齢者のみの世帯には電話の横に緊急通報装置というのをつけまして、緊急時には受信センターが救急車なんかを呼んだり、普段は健康の相談を受けたりするというのが一つ。二つ目、65歳以上の独居高齢者が安心して暮らせるように、独居高齢者みまもり員という方がいらっしやいまして、その方が定期的に声掛け訪問などによる安否確認を行っている。三つ目が、65歳以上のひとり暮らしの高齢者で電話加入権を所有していない方に松山市所有の電話回線を設置しまして、地域包括支援センターから電話による安否確認を行う。そして四つ目に、毎年九月に実施します老人週間行

事というのがありますけれど、100歳以上の高齢者の方を民生委員などが訪問しまして、記念品の贈呈をするとともに安否確認をする、この四つが大きな柱となっております。さっき独居高齢者みまもり員というお話が出ましたけれど、別の地区で市長どうしたらいいんでしょうかというのがあります、それは一人が抱える量が物凄く多くなってた地区があるので、何とかできないでしょうかみたいな話があったことがあるんですけど、正岡でも今一人のみまもり員さんの負担が大きくなってまして、今年は三名増員することになっております。また、みまもり員さんに報償費といって一月にお金をお支払いしているんですが、これが実は千円なんですね。中には「千円じゃちょっと少なからう」という方がいらっしゃるんですけど。なぜ千円なんですかというお話をしますと、担当のほうからは「例えば市長。一万円とかぐっと値段を上げた場合にですね、もし独居の方で亡くなっている方を見つけられなかった場合、千円今まで報償費として払っていたものが一万円になると、仕事っていう色が強くなってしまふので、見つけられなかった場合の責任はどうするんだ」ということになっていきかねないというのもある、というので報償費というのは一月で千円ということなんです。でも、過重になっているといけませんので、みまもり員さんを増やして、一人一人の負担を減らすことで今考えていますという話をさせていただいたことがあります。今教えていただいた、勝手に入ることができるのか、鍵を壊したら復元にはどうしたらいいのか、そして亡くなられた場合どこまでお世話できるのか、これは私正直、知らなかった問題であります。このあたりについては担当のほうから。

【保健福祉政策課長】 非常に厳しいお話をいただきまして、例えば、鍵を壊した場合の復元の問題、正岡地区以外でも昨年起きた事例がございまして、その際には南署に立ち会っていただいて、警察官に鍵を開けていただいて行政も入ったという経緯もございまして。こういった中で、例えば夜間あるいは朝早く、市役所が開いていなかった場合の対応について一点お話をしたいと思います。土日、祝祭日あるいは市役所が閉庁の場合には、私どもの宿直室にお掛けいただきましたら、担当の高齢福祉課に繋がって、夜間でも対応する体制を整えておりますので、そういった対応をおとりいただければと思っております。また身寄りのない方、例えば失礼ながら家の中でお亡くなりになっていたということも昨年もございましたが、そういった場合でもこの高齢福祉課、あるいは生活を援助しております課で連携をとりながら対応していきますので、まずは高齢福祉課あるいは宿直にご一報いただくということをお願いします。それと併せて、訪問していただいたときに意識があれば、その方に身寄りの方あるいは救急車の手配を、みまもり員の方、地区の民生委員の方がそういった対応をできればお取りいただきたいとお願いしたいところです。また、不幸にもお亡くなりになっていたことがございましたら、救急車と併せて警察にもご連絡いただく、また市役所に

もご連絡いただく、連携を図って対応していきたいと考えております。鍵の件につきましては、持ち帰らせていただいて研究をしてお答えさせていただきたいと考えております。よろしくお願いをいたします。

【市長】 鍵のことについては持ち帰らせていただいて、後日必ずご返答いたしますのでよろしくお願いをいたします。確かにそうですね、勝手に入っていいものか、鍵壊して後どうしたらいいんやろうって確かに悩みますね。分かりました、必ずお返事をいたします。

【男性】 民生委員からこのようなことを聞く場合があります。市の福祉に行ったときに、高齢者、独居高齢者も含めてですが、情報開示がすぐになされない、それで不便を感じるということを行います。直接関わっている民生委員さんには、情報開示をスムーズにやってもらいたいと思うのが一点。もう一つ、社会福祉協議会の拠点ですが、現在は会長が住んでいる地区の集会所になっております。今回まちづくり協議会ができて、まちづくり協議会の拠点はここの公民館になると思います。まちづくり協議会に社会福祉協議会も入っているので、まちづくりの拠点を社会福祉協議会の拠点として一緒に仕事をして、機器も一緒に使わせてもらえたらと思っているんですが、いかがなものでしょうか。

【市長】 分かりました、二点ありましたね。

【保健福祉政策課長】 まず一点目の情報開示についてでございますが、松山市は民生委員あるいは社会福祉協議会の関係団体とも連携を図りながら、松山市の個人情報保護条例というのがございますが、こういった規定をお守りくださいねという話をしたなかで、できる限りの情報提供をしてみたいと考えております。ただこの個人情報保護条例で公開できる情報あるいはお教えできる情報も限られてはおりますが、今まさにそういったことも踏まえながら、今回の災害等の状況も受けながら見直しをしている最中でございます。もう少しお待ちいただいたらより積極的な情報開示ができようかと考えておりますのでよろしくお願いをいたします。もう一点、社会福祉協議会の拠点についてでございますが、現在会長の自宅を拠点としてお使いいただいているということも聞いております。現時点でこういった協議会あるいは拠点をできる限り今ある施設の中でご利用いただいたらというようなことも踏まえまして、現在北条の福祉センター等の施設を使うということも含めて、再度協議をさせていただきながら前に進めてみたいと考えております。よろしくお願いをいたします。

【市長】 東日本大震災を受けて、松山では絶対に何も起こらないというわけはありませんので、いろいろと見直しをしているところですけど、皆さんから早く早くと言われるんですけども、それは気持ち重々分かります。でも、ただ一点あるのが、国も見直す県も見直す市も見直すとなれば、三回ばらばらばらばら物事が変わることが想

定されます。逆に混乱するといけませんので、国縣市とできたらまとめて変えることができないかどうかそれを考えておりますので、早く早くというお気持ちは本当によく分かりますし、できるだけ被害に遭う方は出たくないと思っておりますので、改めるのも時期をみながらやっていきたいと思っております。

【市民部長】 施設の利用について、公民館の、既存の施設を使わしてほしいというお話があったんですけど、過去にもまちづくり協議会をするときに、一定の部屋がほしいということで要望がございました。実際に支所を使っておられるところとか、いろんなどころがあるんですけど、公民館が非常に使いやすいという申し入れが非常に多かったんですけど、公民館というのは社会教育の場でなかなか余裕がない実態があるわけです。ただ館によって比較的広いので余裕がある場合には、実際公民館の中で活動をしている事例はあります。新たに拠点を設定したいと希望をした場合、公民館の館長さんと教育委員会と話し合っただけで余裕がある場合については、覚書を交わして、必要なときには立ち退いていただくけどもかまいませんよという話ができるところは、実際そこに拠点を作った事例もあります。たとえば石井公民館であるとか、北条の旧教育長の部屋を今まちづくり協議会が使っておりますけども、そういう形で協議していただけたらと思います。ただそれぞれが点でばらばらで私も欲しい私も欲しいと広くなると本来の公民館の機能を阻害しますので、そのあたりは利用者側で十分な協議の上でまとまった上で協議されたらいいと思います。そのあたりはまた我々の部局と教育委員会とで繋がせていただきますのでよろしく願いいたします。

【男性】 先日、地域の方々、愛護班、青年部で子どもの遊び広場を作りました。この広場には休憩所、遊具、トイレ設備がなく、まだまだ使いにくい広場になっております。今後みんながより良く使えるために市の協力が必要となります。設備が充実することで皆さんの利用も増え、活気あふれる広場になると思っておりますのでよろしく願いします。

【市長】 立岩川のそばのところですかね。報告を受けております。確か地元の方が協力して造成してくださった形でしたかね。これについては地域の方が協力してここまでやってくださっているの、できる限り市役所のほうでもサポートをしたいと思っております。

【保健福祉政策課長】 地域の方で造成をいただいて公園を整備されておるということを聞いております。こうした状況の中で松山市といたしましては、この土地の今の状況が造成間もないということで、地盤がまだゆるいのではないかとということも聞いており、そのあたりの状況をみさせいただきながら積極的に前に進めてまいりたいと考えております。その場合の遊具ですが、例えば遊具あるいはベンチ等の設置はできるんですが、大きい休憩場所とかトイレの設備とかは対象外になりますのでご了承

いただけたらと思います。

【市長】 地域の方で協力をして作られたということはあんまり正岡地区には公園みたいなのがなかったんですか。

【男性】 集会所があるんですが、車を停める場所がボール遊びをしてはいけないことになっておるので、子どもたちが帰っても集まって遊ぶ場所がないので。

【市長】 うっすらとした記憶ですが、立岩川沿いに公園ありましたかね。

【男性】 立岩川に水辺公園があるんですね。あそこが、高田地区に遊具を広く作ったんですけど、そこから150メートル以内なんです。公園の150メートル以内にもう一度作ることはできないということで、立岩川にその公園に行くにはずっと回っていくためにはものすごく距離があるんですね。

【市長】 子どもたちが行くには川やけん、橋を渡らないかんということで。

【男性】 それで遊ぶところがないので作ったということです。

【市長】 なるほど、分かりました。このように地区の方が協力して作ってくださっているんで、できる限りのことをしていきたいと思います。

【保健福祉政策課長】 この遊園地に市が遊具を設置する場合には、保守点検は市でさせていただきますが、清掃とか日常の管理は地元をお願いすることになると思いますので、ご承知おきいただけたらと思っております。

【男性】 関連もあるかと思いますがお話しさせていただけたらと思います。体育協会ですが、旧北条市では、日本体育協会と繋がった団体であった、どういうことかという国体種目にある競技種目の団体が体育協会の団体であったんですね。松山と合併すると、いわゆる市民スポーツも含めての体育協会ということになります。一長一短あると思うんですけど、そうすると不特定多数の人が関わっている、例えば健康志向型のスポーツも関わってくるようになると思うわけですね。メリット面でいうと、不特定多数の人が、いろいろなスポーツに参加をできる、そういった面でいいのかなと思うわけです。正岡も例えばこれまで軽スポーツ、レクリエーションスポーツといえどクロケーが盛んだったんですが、松山市と合併してグラウンドゴルフの大会が開かれるようになったということで、正岡も種目を変えて市の大会に参加しようということでやっておるわけなんですね。一つお願いというか問題があるんですが、正岡のグラウンドではグラウンドゴルフとすると狭いということで、文化の森の市民グラウンドをお借りしようと思っておったんですが、だぶっていて、いよいよ間近になって変えてくださいということになって、うちはその水辺公園があるんでそちらでやろうということで、そのためには公園緑地課にお願いしてシルバー人材センターの人がやっておると思うんですが、あそこの草を刈ってもらわないと普段は、本当は常設施設ですのでいつでもだれが来ても使えないかんのですが、普段はおよそそういった競

技はできないんですね。かなり深い草がある。シルバー人材センターへお願いをして刈ってもらったんですが、本当に雑に刈っておるから競技どころではなくて、前日と当日の朝、地区の役員が草刈り機を持って行って整備をしてやっと大会ができたということがあったわけです。常設の施設なんで、不特定多数の人がいつでも来て、あるいは正岡の団体が行って使えるようにしてないと、年に一回か二回の大会の時だけでも慌てふためいて整備をせないかんということではちょっと具合が悪いと思うんです。市が設置している常設の施設なんで、いつ行っても使えるようにしてないと、頭を下げて何回もお願いしてやってもらった、やってもらってもそれが十分に機能を果たせるようなことにはなっていない、ということがありましたのでお願いをしたらと思います。

【市民部長】 今言われた場所、管理区分がすぐに答えられないので、これは責任を持って確認でき次第すぐに連絡させていただくということでご了解いただけたらと思います。

【男性】 年に1回シルバーにお願いして、刈るのは刈っとるんやろうけど、少なくとも競技ができるような整備にはなっていないということです。

【市民部長】 実態が把握できていないということで、すぐに調べてお返しさせていただくということで。

【市長】 それでは、1ヶ月の目安を待たずして、これについては早く連絡をしてもらうということで、で、スポーツの施設で言いますと、4月から北条のスポーツセンターの体育館ができました。私、落成のときに行かせてもらったんですけど、体育館行ったことある方、手を挙げていただけますか。

(挙手少数)

確か、10億弱くらいのお金で作ったかと思うんですけど、半分くらいは国の補助でできてるんですけど、いい体育館ができたと思ってます。ぜひ皆さん行ってみてください。今時で太陽光パネルもついています。地下にも風を通すようなしくみをつくりまして、夏でも涼しい設計にしています。照明をあまり使わなくても明るいように、陽をたくさん取り入れる仕組みにもなっております。本当に非常にいい体育館ができましたので、ぜひとも行っていただきたい、2階のテラスに上っていただいたら、海もきれいに見えますし、鹿島もきれいに見えますし、芝の競技場もあります、フットサル場もあります、その辺がきれいに見えますので、是非利用していただきたい、行っていただきたいと思います。案外行かれていなかったんで、驚いたんですけど、こちらのPR不足かも知れないな、8月にはオープニングイベントをやる予定ですので、また、使っていただいたらと思います。もう一つ、北条のスポーツセンターの奥に、バイパスを作ったときの土で埋め立てた場所がございます。これ、市の土地なんで有効

利用したいなと思って、何にしたらいいと思います。例えば、あれだけのスポーツ施設があるので、宿泊施設にしたらどうかという方もいらっしゃる、いやいやサッカー場として整備したらサッカーのグラウンドが何面もできるから愛媛FCの練習場なんかにはいいんじゃないか、サッカーの拠点にいいんじゃないかという方もいらっしゃる、いやいや野球王国愛媛だから野球のグラウンド作ってくれ、ソフトのグラウンドつくってくれという方もおいでる。いろんな意見があるんですけど、どうでしょう、せっかく皆さん北条の方なんで。こうしてくれたらええなあみたい。いろいろな意見があると思いますけど。

【男性】 最初は軟式野球の広場が欲しいということでその整備をお願いしたんですけど最終的には多目的広場の方がいいんじゃないかということで、旧北条市のスポーツの関係者の中では、とりあえずはそういった形にしておけばいいんじゃないか、そして、マウンドを作るならそこにちょっと盛土をして使える形にしたらいいんじゃないかという形で要望はしたんですけども、結局そのときは財政面ということがあって市の土地ではあるんですけど、しばらくはという返事をいただいてそれがずるずると現在まで来ているのが実情であるわけです。

【市長】 わかりました、ありがとうございます。

【男性】 先ほど何か作ったらいいかという話があったんですけど、明浜のキャンプ場みたいなオートキャンプ場みたいなのが、立地条件もものすごくいいところなんで、ログハウス建てたり、トレーラーハウスとかテントサイトとか作っていただいたら多くの人に来られるようなところになる気がするんですけど。

【市長】 なるほど、オートキャンプ場というのは正直私そこまで意識がなかったもので、オートキャンプ場というのは確かに一つ利用法としてあると思いますが、ここでちょっと悩みがありまして、行政に入って思うことなんですけど、建物をつくっちゃうと、建物の代金と、言ったこと否定するわけじゃないんですけど、気分悪くされないでくださいね、維持管理費というのが必ず付いてくるんですね、これが悩ましいところなんです。この立場になって思うところなんですけど、皆さんに現在の国県市の財政状況を分かってもらうためにどこの地区でも言うような形になるんですけど、松山市の財政は中四国では2番目に良いといわれています。1番は徳島の阿南市、日亜化学という発光ダイオードの企業がありまして、小さい市ですけど大きな工場があるものですからとっても財政状況がいい、2番目が松山市と言われているんですけど、その松山市でも歳出、お金が出て行く方で一番大きいのが民生費、福祉にかかるお金です、これが全体の40%を占めています。前の年と比べてどれだけこの民生費が増えたかという、およそ50億増えたんです、そのうちの生活保護費は前の年と比べると、およそ20億円増えています。このあたりが大変、財政を預かるものとしては頭の痛いところ

ろ。国はおよそ1000兆円の借金を持っています、ですから、地方にお金はそんなに回ってこないですね。懐具合は、入ってくる方はかわらないのに、生活保護費はおよそ20億円増えている、役所は潰れないって言っていたのは神話伝説みたいなもので、北海道の夕張市は経営破たんをしたという状況があります、自分の生まれ育った松山の財政状況を悪くするというのはとてもたまりません、それはできない。昔だったら、高度成長時代だったらどんどんどんどん税金も増えてる、ですからいろんなものが作れたかと思うんですけど、今はそういう時代では残念ながらなくなっているのが現状なんです。ですから今言っていただいてオートキャンプ場ああ良いなあと思うんですけど、どんだけお金いるんやろうというのを考えてしまうというのが、今のどこの市長、町長さんも思っていることだと思います。もちろん、何かを作るというのは必要だと思いますので、投資的にこれをつくった方がいい、いろんなやらなきゃならないことで、今年はこれをする、来年はこれをするというのを決めてやっていきたいと思っています。いいご提案ありがとうございます。

【女性】 子育て支援のボランティア団体をしています。北条地区、正岡限定ではないんですけども、粟井保育園の子育て支援センターおひさまルーム、聖カタリナ短大広場事業のぼけっと、それから未就園児の親子が集っているドリームキッズという団体、それから子育て支援ボランティア団体の子育て広場ハローフレンズ、また、この正岡地区には社会福祉協議会が作っている子どもサロン国津チャイルドという保育所とか幼稚園に行く前の親子が集うような場所なんですけれども、残念ながら正岡地区には学童保育が校区内にはなくて、車で難波校区まで送り迎えしてもらっている状況です。そこで、学童保育についても必要なんですけど、旧の北条市全体で考えて、児童館が一つもありません。平成18年12月14日に北条児童センター開設推進委員会というのを立ち上げて市に陳情いたしました。正岡地区から一番近いのが久枝児童館なので、子どもたちが自転車でちょっと行ける場所でもないし、親がいちいち連れて行く児童館がまったくない状況なので、陳情したときは、前期の子育てゆめプランの中では決定されているということで、また後期にという話でお答えいただいたんですけど、後期のゆめプランの中で児童館24年度に一つ増える予定になっているんですけど、ぜひぜひ、正岡地区の子どもたちが自転車でいける場所、北条地区の子どもたちが自転車でいける児童館を是非是非作っていただきたいなと思いますので、その点よろしくお願いします。

【市長】 はい、分かりました、児童館のことについて私の方から。その通りです、というのが、「まつやま子育てゆめプラン」というのがありまして、前期後期とあります。後期が平成22年度から26年度まで、で児童館を1か所整備するのを計画しております。松山市全体で優先順位を総合的に検討してるんですけど、北部地区も候補地の一

つになっております。今聞いて驚いたんですけど、一番近い児童館が久枝になっちゃうんですね、わかりました。これちょっと申し訳ないんですけど、児童館単独で新たに施設をとという形になるのは難しい、今の財政状況からすると。ですから、地域の既存施設を有効に活用していくというふうに考えていきたいと思っています。南部児童センターって、はなみずき通りのほうにできたんですけど、あそこも保健センターと児童館の併設になりました。南部の保健センター、人口多いけど保健センターがないということで、保健センターと児童館を併せ持つような施設を作ったわけですけど、知恵と工夫を凝らしながら考えていきたいと思えます。

【保健福祉政策課長】 児童クラブにつきましては、保護者が働いているとか昼間にいらっしゃらない家庭が増えておりますので、小学校1年生から3年生までの児童を対象として施設を設置しております。現在市内に63か所、放課後学童クラブを設置しておりますが、地域、学校、保護者の方で組織いただく児童クラブ運営委員会に委託をしている現状です。そういった中で地域の現状に沿った柔軟な運営をしていきたいと考えております。事業の経費の面からも、10名以上対象の方がおいでところで運営をさせていただいているのが現状でございます、今正岡地区には対象となる児童が10名以下であると聞いておりまして、現時点では難波の「じどう児童クラブ」でバスで送り迎えしながら運営をしているのが現状でございます、ご理解賜りたいと考えております。

【市長】 難波までバスで送り迎えをしていると。このあいだ、小野小学校に行ってきたんですけど、あそこもいろいろ工面しながらやってる、グラウンドと体育館の間に道路が通っているんですね。体育館のそばにもととの児童クラブがあって、子どもの数が多いもんですから児童クラブというのは100メートル、150メートル離れた学校の敷地内にあるんですよ、各地区でやりくりしながらやっている現状を知りました。

【男性】 カーブミラーの設置と管理についてお願いしたらと思えます。正岡地区の松山市道の延長よりも農道の延長のほうがはるかに長く、農道近くには民家、倉庫、ビニールハウス等が建ち見通しが悪い交差点がたくさんあります。そこに事故がないようにカーブミラーを旧北条市と安全協会が立ててきました。合併したときにカーブミラーについては、松山市管理分については松山市のマークがついています。しかし、それのついていないカーブミラーがたくさんあります。その管理と新しく設置をこれから市の方でお願いできたらと思えます。

【都市政策課長】 都市整備部です。今お尋ねのカーブミラーの維持管理についてでございますが、カーブミラーは市内およそ7000弱あります。松山市が管理しておりますカーブミラーにつきましては、先ほど申されたようにシールがあります。ただ、旧北条市についてはシールがない分についても管理しているものもございます。また、

今地元で管理されているカーブミラーにつきましても、一定の基準に合致するものであれば松山市で管理させていただきたいと考えております。管理が道路管理課になっておりますので、ご相談させていただきたいと思います。また、カーブミラーの設置につきましてもは、現在、全部松山市の方で行なっておりますのでよろしく申し上げます。

【市長】 カーブミラーについては道路管理課とさせていただければ。うちの近所のカーブミラーも曲がっていることがあるんですよ。へっちゃ向いてる、向いてほしいところに向いてなかったりするんですよ。皆さんのご近所でもそんなことないですか。そういうことがあったら道路管理課に遠慮なく言っていただいたらと思います。他にはないでしょうか。

【男性】 耕作放棄地での太陽光発電についてお伺いしたいと思います。正岡地区、特に中山間地域ですけど、耕作放棄地の増加が目立っております。今後をもっと増えると思われま。放棄地の有効活用、もちろん農作物の生産が一番なんですけど、今時、効率や安定性、将来性を考えますとなかなか難しい面があります。ちょうど今年の3月東北で大震災が起り、福島での原子力発電所の災害、この状況を見ますと、電力を一刻も早く再生エネルギーに転換した方がよいのではないかと考えております。四国でも4割を原子力発電に頼ってます、これを順次、太陽光発電、再生エネルギーを利用した発電に変えるためには思い切った政策が必要だと思います。10年以上前から家庭用ソーラーパネルについては国と市から補助金が出るようになっております。しかし、耕作放棄地でやろうとすると、いろいろ法令が邪魔して難しい問題が出てくるんじゃないかと思ひます。今、国会で再生エネルギー買取法案が審議されておりますが、これも、見たり聞いたりしてますと、内容的には大口発電、メガソーラーを対象としたものとしか考えられないようになっております。中山間地域で小口、ちょっとした空き地で、家庭用の屋根につけるような発電を行ないたいとするとなかなかまた難しい問題が出てくるんじゃないかと思ひてますけど、今後はそういったことをやっていかなければいけないんじゃないかなと考えております。農地で太陽光発電設備をおいて、それから電柱や送電線を使って発電、電力をつくらうとすると、一つは、農業用地の目的外使用になりますので、農業委員会いろいろ難しい問題もあるんじゃないかと思ひます。ここらへん、どういうふうな施策があるのか、それから一つは初期費用の助成あるいは無料化して売電で回収するような施策をどのように考えていったらいいのか、それから、家庭用と同じように電力会社に買い取らせるため、売電するための政策、これは国の政策が大きいんではないかと思ひますが、市としてはどのように考えられているか、これが家庭用みたいに個人で難しいようであれば、地域、地産地消ということで、電力をいま、山、畑かなり空き地があると思ひますけど、そこでつくったものを正岡地区で消費できたら、地産地消で耕作放棄地の有効利用にもなると

も考えております。現行では1kW国が48,000円、松山市からは6万円ですか、上限18万で、補助金が屋根のソーラーパネルにはありますけど、耕作放棄地でやろうとした場合はどういった政策を進めていけばいいのか、松山市としてはどのように考えているのか、お聞きしたいと思います。

【市長】 まずこれについては結論から言うと検討していきたいと考えております。松山は太陽光発電にかなり積極的にやってきたところなんです。今おっしゃったように国も市も補助を出してきたわけですけど、あるとき国が補助やめたときがあるんですね、これは市にとってはきつい現状なんですけど、国が補助をやめたときも松山市はずっと補助をやってきたんです、それだけ太陽光発電には思い入れがある、肝いりの政策なんです。何で太陽光発電に松山は力を入れているかという、松山は全国の中でも日照時間が非常に多い、2055時間で平均をだいぶ上回る日照時間があるから、自然エネルギーを生かそうということでやって参りました。それならどんどんやったらええやないか、耕作放棄地もあるけん、言われたこともあります。例えば飛行機で北条から島のほうを通って松山空港降りますよね。例えば北条の耕作放棄地にいっぱい太陽光パネルがあつて、自然エネルギーの町北条みたいになったらいいじゃないか、言われたこともあります。でも、ちょっと難しい面があるのが、皆さんもご存知かと思いますが、太陽光発電ってちょっと日がかげるとどんと出力が落ちるんですね。松山市の勝岡にメガソーラーという四国電力が作ったところがあるんですけど、私もここへ見学に行ったことがあるんですけど、やっぱり日がかげるとどんと落ちるんですね。それと、原発と比較すると勝岡のメガソーラーは最大出力が2,042キロワット。伊方はですね、一号機二号機三号機合わせると2,022,000キロワット。これ千倍の規模になるんです。ですので、そういう出力の規模の大きいものが原発ではできるんですけども、今回果たして安全かというところに疑問符がついたわけです。私は長い目で見た脱原発でいきたいと思っております。それは、今四国においては43パーセントを占めているんです、原子力発電所が。これをぱたっとやめてしまったらどうなるんだ、産業への影響、皆さんの生活への影響もあろうかと思えます。ですので、長い目で見た脱原発というのを私は考えておりますけども、やはり自然エネルギーの分量をできるだけ増やしていきたいと思っておりますので、これは検討していきたいと思っております。一つ忘れておりました、農地法というのがありまして、農地は農地で置いておきたいという国の考え方があるわけですね。これは、食糧自給率は日本はまだ40パーセントしかないんです。ですので、先進国の中で100パーセントを越えて、輸出しているという国もある中で日本は自分の国の中でまかなえない40パーセントしか食糧自給率がないから、農地はできるだけおいておきたいという農地法があるわけですけど、そういうふう違う方法で使いたいというのがあるんだったら農地法を

変えないといけない、転用許可が必要になるということで、これは農地法規制緩和の話が今話し合われているところです。そういう現状にあります。

【市長】 今日はずっとより時間がなかったように感じるんですけど。どうぞ皆さんご遠慮なく発言していただけたらと思います。

【男性】 正岡地区の魅力にも関わる話をまず一つさせていただきます。数年前ですが、私の知り合いが、東京から来られた方ですが、愛媛に来てどこに住もうかなとあちこち見て回ったそうなんです、西条がええと。松山市の向こうの西条がええと言うんですね。よくよく聞いてみたら、北条市のことを西条と言っていたわけです。それでどこがいいのかと聞きますと、非常に自然環境がいいと。山と海の距離がちょうどいいと。山の幸と海の幸も食べられるということで、四国では一番かなと。とにかく愛媛では北条が一番住みやすい町じゃないかというようなことを言われました。ということはこの正岡地区は、北条地区の中心地ですので、大変自然環境に恵まれとることが言えると思います。そこで、一つお願いなんですけれど、院内川の隅に浄水施設があるんです。それは旧北条市のときに浄水場として出来ていたんですが、今年は水の事情がいいんですが、渇水的时候は、非常に院内川の水が少ないんです。そのこの辻池も、溜まり方が少ないということで大変困っております。というのはおそらく合併してからは松山市のほうにも回しているんじゃないかと。北条市は平成6年の大渇水的时候でさえ水は困らなかったんです。それがどうも合併してから北条市の水がもっていかれとんじゃないか、すなわち自然がちょっと壊されとんじゃないかと。ホテルの郷を流れとる川ですからね、そのあたり考えた上で水の、市長さん今西条と水の問題もあると思いますが、大所高所で考えていただいて北条市の水をあまり取らないように、自然を壊さないように一つお願いしたらと思います。

【市長】 分かりました。これについては今日担当がちょうどいないですかね。上水道のことで、担当は公営企業局になるんですけども、これについてはまたきちっとお答えを差し上げたいと思います。すみません、私この間ちょうど浄水場の見学に市之井手浄水場に行ってますね、全部松山市の水はこういうふうにして配分しているんですという地図を見てきたところなんですけど、北条の水がどんなふうになっただか覚えてないので申し訳ないです。必ずお返しいたします。

今日は本当に時間が早かったように感じます。私のほうから最後に、皆さんご存知のように私は北条の河野の人間でございます、隣の地区と言いましょか。今、最後にも魅力について触れていただいたんですが、やっぱり北条ってねとっても住みやすくていいところなんだと思います。お年寄りもいらっしゃって子どもらもおって、繋がりがあってっていうまちで、私もこの立場でありますからそれこそいいこともあるしそうでないこともありますので、ちょっと疲れることもあるんですけど、北条にた

まに帰ってくるとですね、自分の家から海が見えます、夕日が沈みます、緑も多いです、やっぱりそういう情景を見ていると心癒される部分があります。ですので、本当に皆さんいいところにお住まいなんだと思います。魅力も本当にたくさんありますので、まちづくり協議会もまさに出来上がったところであります。本当にいい組織ができましたので、地区の、正岡の魅力を知っているのは皆さんです。皆さんが一番知っていますので、どうぞ皆さんの地区を良くするような話し合いをどんどんしてもらって、我々も共に汗をかくというというのが我々のスタンスでありますので、一緒に汗をかきながらいい地区を、またその41地区が集まったのが松山市でありますので、いい松山市を作っていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞご協力をお願いいたします。本日は本当に長時間ありがとうございました。

(拍手)

——了——